

# 協議事項等に対するご意見と協議会の対応

※紙面の都合上、一部ご意見を事務局にて抜粋・割愛させていただきましたのでご了承ください。

	意見要旨	意見への対応
<p>コロナ禍の入居の現状や新たな課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンルーム等の単身者向け住居の空き室が増えている。</li> <li>・ワンルームから1K以上の広さを求めて転居する方が増えた。</li> <li>・地方への移住が増加している傾向がある。その結果、都心のワンルームに空きが目立ってきており、入居までに相応の時間を要している。</li> <li>・要介護状態となり一人暮らし低所得の方で劣悪な環境で過ごされている事例は数多い。</li> <li>・子供がいるため安い所に住み替えたいが家族がいると対象外の物件も多い。</li> <li>・コロナ禍以前の収入を前提に契約していた賃貸住宅の家賃支払いが困難なケースや家賃に対する公的支援を受けても転居費用捻出の面から転居困難なケースもある。</li> <li>・2～3月は一般の方々（転勤・就学等）の入居希望が多く障害者の入居が敬遠されがちなこともある。</li> <li>・緊急連絡先確保できず物件の紹介に至らなかった。</li> </ul>	<p>様々なご報告をいただきましてありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>居住支援サービスガイドの反響、活用事例、改善すべき事項等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドを通じて「住居確保給付金」の案内を行うことができた。</li> <li>・文字数が多いので解りづらいイラスト等を増やすと、より理解しやすいと思う。</li> <li>・入居支援に繋がった例はまだない。</li> <li>・窓口配架し、相談にきた高齢者にサービスごとに説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドを活用いただけた事例を拝見しますと、作成による効果を実感いたします。</li> <li>・文字数、イラストの配分につきましては参考にさせていただき、今後の改訂に活かしてまいります。</li> </ul>
<p>要望書の提出の賛否</p>	<p>賛成23 反対0</p>	<p>意見書を提出いただいた全ての方から賛同をいただいたため、5月24日東京都へ要望書を提出いたしました。（資料3のとおり） 今後、当課のホームページにアップロードいたします。</p>
<p>要望書の提出賛否の理由、案文についてのご意見等</p>	<p>（賛否の理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居住支援的を射た内容である。</li> <li>・登録住宅の家賃相場が10万円前後となると年金などで生活をされている方には厳しくなる。</li> <li>・高齢者や障害者等住宅困窮者が住みやすい街になるため登録住宅が増えるよう希望する。</li> <li>・入居相談は低額所得者が大半であり、現在登録されている登録住宅では高額家賃帯のため活用が困難である。</li> </ul> <p>（案文についてのご意見）以下修正のご指摘です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望家賃を6万円未満となっていること→としていること</li> <li>・達成されこと→されたこと</li> <li>・さらなる支援についてお願い～→さらなる支援について早急にご検討頂けます事を切にお願い申し上げます</li> </ul>	<p>案文へのご意見を資料3のとおり要望書へ反映させていただきました。</p>

<p>登録住宅の確保に対するご意見やお考え</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他地区に比べ新宿区の登録住宅が少ない。他地区が多く集められている理由を知りたい。分析資料はあるか？</li> <li>・登録住宅の要件を緩和すると、増加するのは</li> <li>・賃貸人へのバリアフリー化等への補助を含めて理解を深めていくことが大事</li> <li>・要介護状態の方への対応を踏まえ登録条件の基準チェックが必要</li> <li>・区内の登録住宅少ないため都内の空き室へ誘導できないか</li> <li>・一人暮らし高齢者が多く家賃の課題あり</li> <li>・賃貸人の制度認知不足のため、周知活用の強化と登録するメリットをアピールできる施策（賃貸人に対する入居謝礼金等）を検討してほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・23区の平均家賃相場と登録住宅数の相関を見ると、一概には言えませんが家賃相場が高い区ほど登録住宅数が少なく、逆もまた然りな傾向にあり、住宅確保要配慮者の入居ニーズと連関があるのではと考えます。</li> <li>・登録住宅の要件緩和に関しては東京都が決めることであり区で決定できない要素も大きいので、今回提出する要望書の中で低廉な家賃の登録住宅の確保を求めています。</li> <li>・東京都で発行している住宅セーフティネット制度のパンフレットの周知を協議会を通じて不動産業関係団体へ積極的に行っていきます。</li> <li>・区ではセーフティネット法に基づく専用住宅（家主が入居を拒まない賃貸住宅）等への家賃低廉化等の支援を開始できる体制を目指しています。</li> </ul>
<p>LGBTの入居の現状と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単身者ならば一般の方と同様に対応するが、カップルの場合別れて1人になると家賃を払えなくなる場合があり、断ることも。パートナーシップ宣言書等の届け出があれば、どちらかを世帯主として契約を進めることが可能。</li> <li>・入居希望者が、LGBTである事を事前に告白された事がない。</li> <li>・LGBTの方からの相談がない・制限やトラブルについて把握していない</li> <li>・シェアハウスなどもある中、大人が住むのだから特に問題ないのではないかとと思うが、事件性があるのか？</li> <li>・現状入居時での不動産屋などへのLGBTの情報提供は行っていないが、今後偏見による入居拒否など考えられるので区として何らかの対処を前もって検討しておくことは良いのでは。</li> <li>・LGBTの方は生活保護を受給していても見た目や戸籍上の性差により、入居できるアパートを探すのが難しい場合も多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区ではLGBTを始めとする男女共同参画社会への意識を高めるための講座を区内で活動する団体と共同で開催するなどの取り組みを行っています。</li> <li>・LGBT入居の課題については今後も協議会を通じて定期的に意見を集約し今後の居住支援事業の参考にさせていただきます。</li> </ul>
<p>協議会への連絡事項・その他ご意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元々新宿区に在住の方が他区へ就職したが、高齢になって転倒骨折、遠くにいるご家族から仕事をセーブする様言われ3回/Wにしたが、収入が少なくなったので、前年度の税金を払うのが大変になり、現在は8万強の家賃の所から新宿で6万位の所を探したがないと資料2-③と同じ様な事を言われておりました。</li> <li>もしあったと仮定した場合、引越の費用は支援してもらえるのかと聞かれました。どうなのでしょうが？</li> <li>・他地域では生前整理・遺品整理・空家整理等の家財整理についての相談を受ける機会が増えてきているため新宿区でも制度化の検討をお願いしたいです。</li> <li>当社は神奈川県で居住支援法人が連携した家財整理サービスを行っており、地域包括支援センターや自治体福祉部署（特に生活保護書簡部署）からの依頼を多数受けています。</li> <li>・都指定の居住支援法人のうち、地域に身近な居住支援法人の具体的な支援事例を協議会で共有し、居住支援サービスの広がりや各団体の連携につなげたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お尋ねの引越し費用について、当区で該当の助成制度はありません。</li> <li>・当区では入居者死亡保険料助成制度はあり、現状家財整理の助成制度の策定は検討しておりませんが、家財整理サービスは当区でも地域包括支援センターや福祉関係部署等でご利用いただける可能性があるので、協議会を通じての周知も可能です。</li> <li>・居住支援法人の具体的な支援事例については今後協議会を通じて各団体から情報を得て共有することで団体間でも連携できるよう努めていきます。</li> </ul>